

花と緑のネットワーク通信

2月13日 札幌エルプラザにて いよいよ開催!

No. 8 (2011年2月1日発行)

さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム

暮らしとガーデン ～みんなでつくる街並み～

さっぽろタウンガーデナーのみなさんや、花と緑のボランティア団体の方々と準備を進めてきたフォーラムを以下の内容で行います。吉谷桂子さん講演会のみ満席のため締切りましたが、ガーデンパネル展や交流・体験コーナーにぜひ足をお運びください。

交流・体験コーナー

4階 大研修室 15:30～17:30

🌸 樹木の香りを楽しむコーナー

北海道に自生する樹木の葉などから蒸留法で抽出した12種類の香りを、フレグランス（香り）とフレーバー（風味）で体験していただきます。オリジナル香水づくりも楽しめます。

●担当：林業試験場＋さっぽろタウンガーデナー

🌸 ハーブを知る・楽しむコーナー

お肌にやさしいハンドクリームと、香り豊かな手作りハーブ石鹸の作り方を、作製の手順ごとに展示してご紹介します。身近なハーブで作るお料理レシピもご用意します。

●担当：豊平公園花とハーブの会

🌸 タネの交換コーナー

自宅で余っているタネを交換して栽培のコツなどの情報も交換しましょう。タネがなくても参加できます。タネあてクイズもします。全問正解者には抽選で素敵なプレゼントが当たります。

●担当：シーディー サンデー プロジェクト

🌸 ゆったりカフェコーナー

ハーブティー・コーヒー・紅茶とおしゃべりで、花と緑を愛する仲間たちとの交流の場としてご利用ください。

●担当：ガーデニングリラの会

ガーデンパネル展

3階ホール前ロビー
12:00～17:30

花と緑のボランティア団体や、さっぽろタウンガーデナーのみなさんから寄せられた花壇や庭の写真を展示します。写真からは、花を育てる楽しさや地域とのつながりなどが伺えます。ぜひご覧ください。

●担当：さっぽろタウンガーデナー

吉谷桂子さん講演会

満席のため
申込受付を
締切ました

ガーデンのデザインはもちろん、テレビや雑誌、執筆でもご活躍されている園芸研究家の吉谷桂子さんに、まちの景観に合ったデザインのポイントなどをご紹介いただきます。

さっぽろ
花と緑のネットワーク
登録状況
(2011年2月1日現在)

1. 花と緑のボランティア団体（全20団体）

2. さっぽろタウンガーデナー（260名）

中央区	30名	白石区	9名	清田区	12名	手稲区	26名
北区	53名	厚別区	28名	南区	21名	その他	7名
東区	41名	豊平区	18名	西区	15名		

楽しさを分かち合おう！ タネ・苗の交換



シーディー サンデー プロジェクト

タネや緑の情報交換をきっかけに、地域の人たちと協力して花と緑のまちづくりをしようと、タウンガーデナーの有志が集まり「シーディー サンデー プロジェクト」を発足しました。

❁ はじまりは「プチ・シーディー・サンデー」

2010年に開催した「花と緑のまちづくり交流ワークショップ」で、進行役の坂本純科さんからイギリスなどで行われている「シーディー・サンデー（タネの交換会）」を紹介していただきました。北区と東区のワークショップでは、このイベントを体験してみようと、それぞれの参加者で「プチ・シーディー・サンデー」を企画。市内各地から集まったタウンガーデナーの方々がタネや苗、地域の活動や植物を育てる知恵など、いろいろな情報を持ち寄り交換しました。初対面同士でも、実物のタネや苗があると話がはずみ、3時間のワークショップはあっという間。参加した方からは、このイベントを継続して欲しいという声が多く寄せられました。

❁ まずは、やってみよう！

2回の「プチ・シーディー・サンデー」に参加した北区のタウンガーデナー上井祐子さんは、この楽しさをみんなに広めたい！と強く思い、「自分たち

でタネの交換会を企画してやってみませんか？」と、交流ワークショップで知り合った方々に声をかけました。上井さんの思いに賛同した6名で話し合いを重ね、継続してタネや苗の交換会を企画・開催できるようにと団体設立に至ったのです。

❁ いよいよ開催「花と緑の交換会」

記念すべき第1回目のイベントは、メンバーの高島常嘉さんの協力で、北区屯田地区センターで開催することが決定しました（詳細は下欄参照）。また、これに先駆け2月13日に開催の「さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム」では「タネの交換コーナー」を担当することになり、現在9名で、会場で交換、配布するタネの袋づめなどの準備をしています。



新しい年の始まりとともに活動の第一歩を踏み出した「シーディー サンデー プロジェクト」の今後が楽しみです。（事務局：岩谷）

会員募集中！

一緒にタネの交換会の企画・開催をしませんか？
興味のある方はご連絡ください。
代表：上井祐子 電話/FAX：011-727-2008

屯田地区センターで 花と緑の交換会 を開催します！

みんなで持ち寄ったタネを交換しましょう！ 種まきと育て方も教わって、タネから花の苗を作ってみませんか？ 元気に育った苗は、自宅はもちろん、近所や屯田地区センターに植えてみんなで楽しみましょう。楽しいイベントコーナーもあるので、お子さまと一緒にあそびにきてくださいね！

クイズコーナー、北区の花と緑の活動団体紹介、屯田地区センター活動サークルの作品展示、フリーマーケット、ハーブティー試飲コーナーなどもあります。
6月には苗の交換会も予定しています。お楽しみに！

■日時：2011年3月26日（土）12：00～16：30

■会場・問合せ：屯田地区センター
札幌市北区屯田5条6丁目3-21
電話：011-772-1811

■交通機関：中央バス「屯田線」
「屯田5条7丁目」下車 徒歩2分

■プログラム

- ・12：00～16：30 タネの交換会
- ・14：00～15：00
「種まきからはじめる花の街づくり」講演会
- ・15：00～16：00 種まき講習会（要申込）

花や緑を植えているみなさんの中には、タネをまいて育てている方もいらっしゃいますよね。咲かせた後に採ったタネや、買ってきただけでまききれずに残ってしまったタネはどうしていますか？ 育てられないからといって、タネや苗を捨ててしまうなんてもったいない！ みんなで交換して、花と緑のまちづくりに役立てませんか？

苗の交換会をしました

「ガーデニング リラの会」では、2010年8月、会員同士が楽しく交流する機会にしようと、苗の交換会を開催しました。店では手に入りにくい時期でしたが約300株もの苗が集まり、30名ほどの参加者で交換しました。

持ち寄った苗は、タネから育てたバジルなどのハーブや、こぼれ種で増えたラベンダー、宿根草のアルケミラモリスやアヤメ、大株のシマススキなど多彩でした。交換用の苗の準備は、掘り上げてポットに移し養生したり、名前や育て方を付けるなど手間がかかります。でも、増えすぎて困っていた苗を望んでくれる人がいるのはとても嬉しく、苗を渡す時には育て方などの情報交換にも花が咲きました。



ガーデニング リラの会

3時間ほどの短い時間でしたが、苗の交換だけでなくハンギングバスケット講習会を行ったり、欲しい苗や質問を自由に書き込める「花ノート」を置いた喫茶スペースを設けるなどして、終始花の話題で盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。



この苗の交換会は大変好評で、今年は植え替えに適した6月頃開催したいという声も上がっています。苗をあげる人にも、もらう人にも喜んでもらえる楽しいイベントです。 (事務局：岩谷)

タネ・苗交換いろいろ

1989年、カナダのバンクーバーで、初の「シーディー・サンデー」ならぬ「シーディー・サタデー」が開かれました。在来種の保存と生物多様性の維持、コミュニティづくりの意識を高めることが目的でした。会場には「交換テーブル」が設けられ、持ち寄られたお気に入りの種子は、名前や栽培年数などを書いた小袋に入れられ、その植物が地域の文化とどんなつながりがあるのか、伝統的なお祝いの料理にどう役立つかといった話をしながら交換されたそうです。

イギリスでは2001年に最初の「シーディー・サンデー」が行われ、その後ウェールズなど全英各地に広がりました。アメリカでも同様の取り組みがあり、1月の最終土曜日は「ナショナル・シード（種子）・スワップ（交換）・デー」です。

種苗交換会の目的は国や地域、主催者によってさまざまです。栽培される機会が少なくなった在

来種を交換し、栽培の知恵や技術を伝達するということ場合もあれば、珍しい植物を手に入れたり、種苗の購入費用の節約（さらには食料を自分で栽培することで生活費を抑える）といったこともあります。また中南米からの移民が多いアメリカでは、種苗交換を通して、慣れ親しんだ自分たちの国の食べ物の種子や苗を、新しい生活の地で同郷人が融通しあうといったことも行われています。

日本でも、やはり在来種を保存したり、家庭でたくさん採れてしまった種子などを譲り合うために、有機農業者やガーデナー、種苗業者が主催する種苗交換会が行われています。また秋田県では、農業振興を目的に1878（明治11）年に始まった交換会が、現在までずっと続いています。

国・地域を問わず、いずれの種苗交換の場でも、モノだけではなく、情報や人と人との交流が生まれています。種苗の交換は、豊かな環境づくり、コミュニティづくりにつながる取り組みといえるでしょう。 (事務局：都築)



ブログで交流しませんか？

まちのガーデナー紹介

大石 一枝さん（北区）

北区あいの里のタウンガーデナー・大石さんは、2005年6月から、インターネットのブログ（注）で「オープンガーデン」をしています。ブログでは、庭に植えられている原種のチューリップ、レースフラワーやバラ、ツルニンジンにフロックス、ムクゲなど季節ごとに咲くさまざまな花、緑の濃淡が美しいグラス類、寄せ植えなどが紹介されています。レンガを積んでつくったバーベキューコンロや手づくりのベンチなどの写真もあり、眺めているとゆったり庭を散策しているような気分になります。ドライフラワーを使ったさまざまな手づくりリースの写真が楽しめるのも魅力の一つです。



大石さんによると、ブログを通じて、会ったことのない人とも交流が生まれ、知らない花の名前を教えてもらったり、道外の人々が来道の際に庭を訪問してくれたり、苗を交換しあったりということもあるそうです。また、ブログは庭の記録にもなり、以前の庭の様子を振り返ることもできるそうです。天気に関係なく、好きな時間に内容を更新できることも利点です。

インターネットを使える方は、ぜひ大石さんのブログを訪ねてみて下さい。コメントをのこして下さると、新しいネットワークが生まれるでしょう。ブログをされている方同士アドレスを交換し合ったり、新しくブログをはじめめることもおすすめしたいです。（事務局：都築）

（注）インターネット上で公開される日記のようなもので、写真や文章などを載せることができます。インターネットを使える環境にある人なら、他の人のブログをみたり、比較的簡単に自分のブログをつくることができます。

エプロンおばさんの北海道ガーデン^^

http://blogs.yahoo.co.jp/epuron_barbar

花の咲く時期だけ更新しているので、現在のところ更新はお休みしています。庭のフクジュソウが咲き始めるころから、「オープンガーデン」がはじまります。



インフォメーション



＊＊ 亜麻の育ての親にないませんか ＊＊

札幌駅北口から苗穂までの北8条通りに亜麻を咲かせる活動に取り組むAMA(アマ) サポートーズ倶楽部では、今年6月に植える亜麻の苗をタネから育てるボランティア「亜麻の育ての親」を募集しています。説明会を開催しますので、参加希望の方は2月20日までにご連絡ください。

■亜麻の育ての親説明会

■日時：3月19日（土） 10：30～11：30

■場所：サッポロビール博物館

（サッポロビール園の敷地内 東区北7東9）

■内容：育苗キット（種子・トレイ・土）を配布します。
育てた苗の半分はご家庭で、残りの半分を亜麻とホップのフラワーロードに提供していただきます。

■申込：AMAサポートーズ倶楽部（代表：走川貴美）

FAX：731-5853

E-mail：kp8m-hrsk@asahi-net.or.jp

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ 菜縁セミナーその2 ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

人と人がつながり、知恵と力を集めれば活動もいっそう楽しく広がりそう。でも、どんなふうに人を巻き込んでいったらいいの？ コミュニティガーデンやコミュニティスクールを事例に、まちが人を育て、人がまちをつくるプロセスとハウツーについて聞いてみましょう。

■日時：3月4日（金）19：00～21：00

■場所：札幌エルプラザ環境研修室（北区北8西3）

■スピーカー：宮内泰介（北海道大学大学院文学研究科）

藤野真一郎（恵庭市教育委員会）

坂本純科（NPO法人人まち育てI&I）

■主催：NPO法人人まち育てI&I / 札幌市

■申込：NPO法人人まち育てI&I

中央区宮ヶ丘2丁目1-1-303

TEL：640-8411 / FAX：640-8422

Email：iandinpo@gmail.com

【発行・編集】さっぽろ花と緑のネットワーク事務局
札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階
財団法人札幌市公園緑化協会内

TEL：011-251-3309 FAX：011-211-2577
E-mail：flowers@sapporo-park.or.jp
<http://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>

